

橋梁床版防水

# ウルトラシール工法実演会

## エムケービルド 國本建設が共催

(無料メールで19日配信済み記事)橋梁の床版防水工法「ウルトラシール」の公開施工が、このほど智頭町内の町道橋で行われ、コンサルタントや二事業者が優れた防水性に関心を寄せた。エムケービルド(神戸市)と國本建設(智頭町)の共催。



ウルトラシールを塗布した後、強化保護シートを張り付けるようす(=5日、智頭町宇波・夏明橋)

デモンストレーション施工は、町道宇波線橋梁修繕工事(夏明橋)を請け負っている國本建設が床版部の防水工事に同工法を提案し、採択された。県内外から20人以上が見学した施工実演では、コンクリート表面にアスファルトプライマーを塗布。その後、加熱溶融した「ウルトラシール3750 MTO」を塗りながら、強化保護シートを貼る手順が説明された。コンクリート内部に入り込むウルトラシールが、従来のシール材より

も防水機能が優れている点や、表面に砂を散布することなく保護シートを貼り付ける工法の利点などが持参されたサンプルから実証された。

公開施工を終え、國本建設の担当者山根翔太さんは「施工もやりやすく、コンクリートの長寿命化に役立つことなど、お話し、特に延長が短い橋梁に適しているのではないかと施工の優位性に胸を張った。